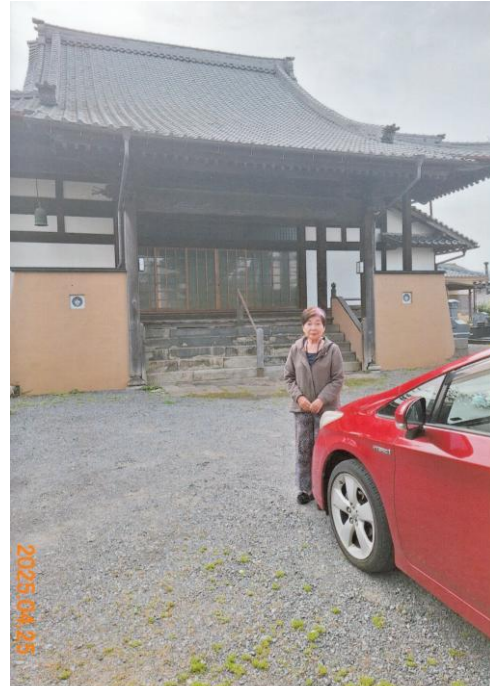


## 「お寺さん(浄土真宗本願寺派常通寺)に寄り添って」

有働 セツコ (S10:熊本)

私が昭和 45 年に安田生命に再入社したころは、保険の仕事は世間ではあまり評価される職業ではありませんでした。入社後、社祖の安田善次郎の本を読み、生命保険は人生最悪の時に光となる助け合う制度で、人のため世のためになることに気づかされました。その後、多くの壁にぶつかりましたが、その時の初心を忘れず乗り越えてきたように思います。25 年前には、縁あって世界の奉仕団体「熊本火の国ライオンズクラブ」に入会し、今も活動しております。

9 年前の 2016 年 4 月に熊本地震がありました。私も被災し避難所にいるとき、安田生命時代の同僚でお寺に住み込みで働いていた友人から 1 本の電話がありました。「大変です！坊守の純子さんが材木に挟まれて大怪我をしたため救急車で運ばれました。足を切断するかもしれない！」とのこと。飛んで行ったら、庫裏は全壊、本堂は右に傾き建具は外れて吹きさらしになっていました。このお寺（浄土真宗本願寺派常通寺）は入社したての若い頃に宣伝募集で飛び込み、契約いただいた後も大変お世話になった大切なお客様でし



た。その惨状にただ呆然とするのみ！でも何とかしなくてはと思っていますとき、同じ思いの建築業者との出会いがありました。

その後、純子さんは地震にみまわれた熊本では治療が無理なためドクターヘリで福岡の済生会病院に運ばれ、入院・治療の甲斐あって幸いにも全快されました。並行して本堂・庫裏の復旧に携わることになりますが、折しも熊本県の計らいで復興支援のためのホームページ開設の説明会がありました。お寺の門徒総代とも相談のうえ私の家で復興支援のためのホームページを立ち上げるようになりました。県の許可を得るための業者の見積もり打合せなど、いろいろ大変なことが目白押しでした。門徒の皆様にも状況報告や寄付のお願い

**常通寺の復興を願って**

熊本地震で被災した宗教法人に係る  
指定寄附金制度について

ホームページアドレス  
<http://jotsuji.jp>

**常通寺**  
〒860-0051  
熊本市西区二本木 3 丁目 12-45

■ 有働 セツコ  
連絡先 ■

などで数回お便りをしました。3年計画の復興計画でしたが、おかげさまで寄付も順調に集まり、庫裏・本堂は何とか復旧することができました。

今も毎日このお寺さんに通っています。ひとつはこのお寺さんへの思い入れで自然に足が向くため、もうひとつは体力が落ちている坊守の純子さんを補佐するためです。私も「物忘れ振りまわされて日々を生き」の現状ですが、誰かのお役に立つ、誰かが喜んでくれると思えば、知恵と勇気と元気が湧いてきます。お陰様で年相応に元気で楽しい日々を送っています。